

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成29年8月】

■調査概要（データ対象期間：平成29年8月1日～8月31日）

- 調査期間：平成29年8月29日～9月20日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業23企業、製造業23企業、卸売業15企業、小売業33企業
飲食業16企業、サービス41企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計151企業>
- 調査項目：8月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が縮小

1. 業況判断

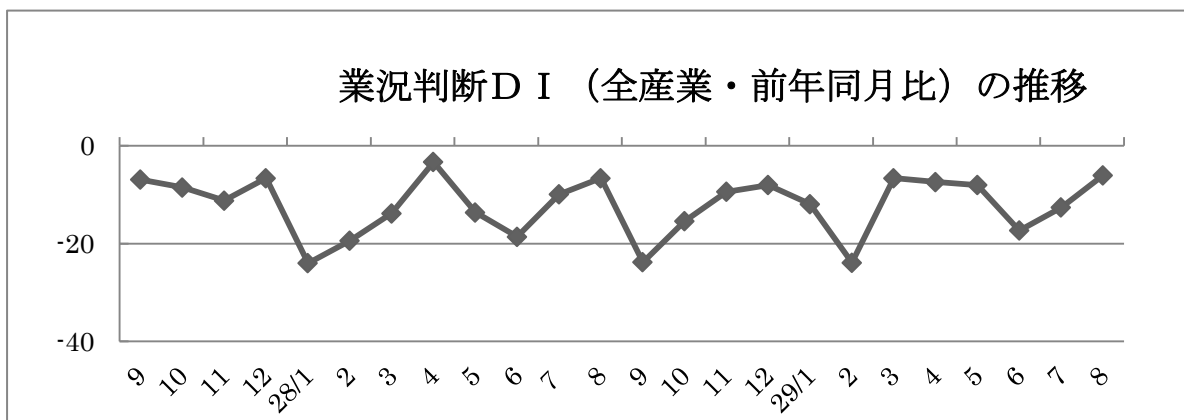
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲12.6）よりマイナス幅が6.6ポイント縮小し、▲6.0となった。業種別では、卸売業はプラス幅が拡大した。製造業はマイナスからプラスに転じた。飲食業、小売業はマイナス幅が縮小した。建設業は0からマイナスになった。サービス業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲17.2）よりマイナス幅が1.3ポイント縮小し、▲15.9となった。業種別では、飲食業、製造業、卸売業、小売業、建設業はマイナス幅が縮小した。サービス業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	13.2 (13.2)	67.6 (61.0)	19.2 (25.8)	↗ ▲6.0 (▲12.6)	9.9 (10.6)	64.3 (61.6)	25.8 (27.8)	↗ ▲15.9 (▲17.2)
建設業	17.4 (14.3)	60.9 (71.4)	21.7 (14.3)	↘ ▲4.3 (0.0)	8.7 (14.3)	73.9 (61.9)	17.4 (23.8)	↗ ▲8.7 (▲9.5)
製造業	17.4 (18.2)	69.6 (36.3)	13.0 (45.5)	↗ 4.4 (▲27.3)	17.4 (13.6)	52.2 (50.0)	30.4 (36.4)	↗ ▲13.0 (▲22.8)
卸売業	26.7 (26.7)	66.6 (53.3)	6.7 (20.0)	↗ 20.0 (6.7)	20.0 (13.3)	53.3 (60.0)	26.7 (26.7)	↗ ▲6.7 (▲13.4)
小売業	12.1 (5.9)	63.7 (67.6)	24.2 (26.5)	↗ ▲12.1 (▲20.6)	9.1 (5.9)	60.6 (64.7)	30.3 (29.4)	↗ ▲21.2 (▲23.5)
飲食業	18.8 (0.0)	56.2 (66.7)	25.0 (33.3)	↗ ▲6.2 (▲33.3)	12.5 (5.6)	62.5 (55.5)	25.0 (38.9)	↗ ▲12.5 (▲33.3)
サービス業	2.4 (17.1)	78.1 (63.4)	19.5 (19.5)	↘ ▲17.1 (▲2.4)	2.4 (12.2)	73.2 (68.3)	24.4 (19.5)	↘ ▲22.0 (▲7.3)

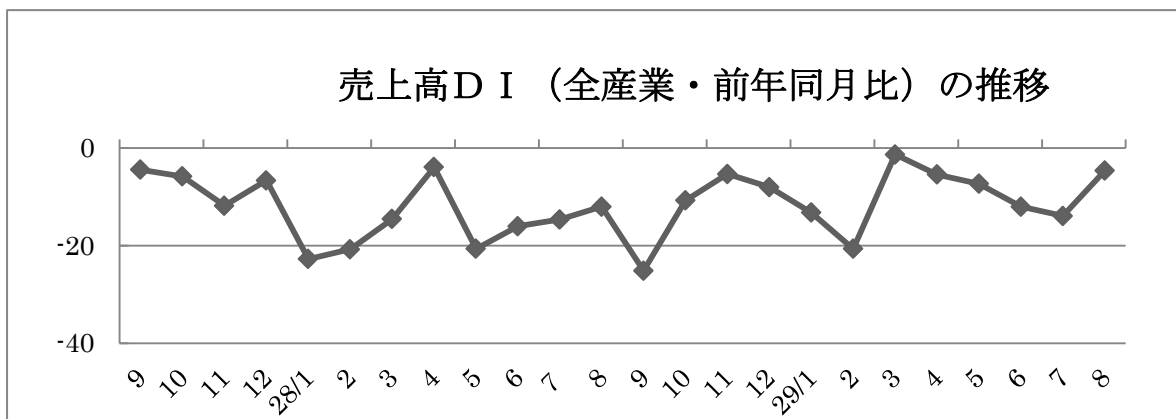
()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲13.9）よりマイナス幅が9.3ポイント縮小し、▲4.6となった。業種別に見ると、卸売業、建設業は0からプラスになった。製造業はマイナスからプラスに転じた。飲食業はマイナス幅が縮小し0となった。小売業はマイナス幅が縮小した。サービス業はプラスからマイナスに転じた。

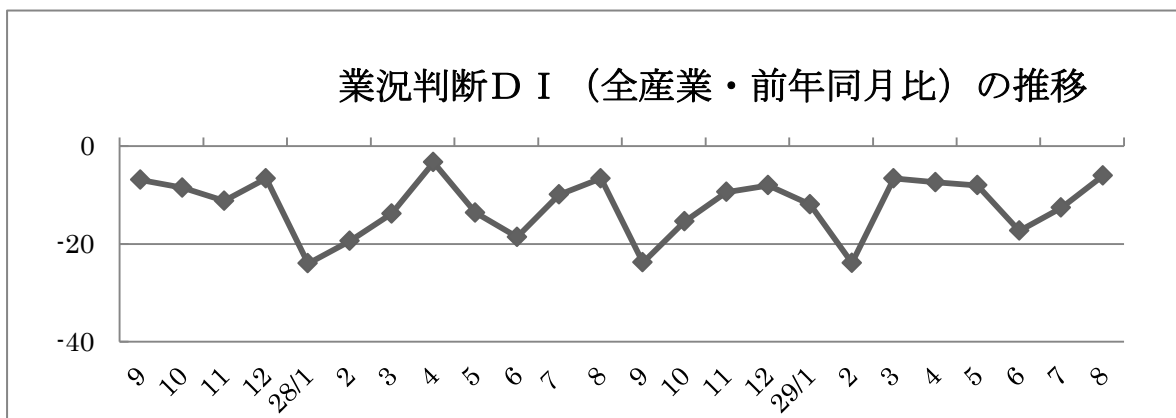


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	28/8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 体	▲12.0	▲25.1	▲10.7	▲5.3	▲8.0	▲13.2	▲20.6	▲1.3	▲5.4	▲7.3	▲12.0	▲13.9	▲4.6
建設業	▲9.5	▲9.6	▲21.7	▲12.5	▲39.2	▲25.0	▲22.7	▲5.2	▲19.1	▲28.0	▲14.3	0.0	8.7
製造業	▲5.0	▲26.1	▲17.4	▲4.5	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7	▲9.1	0.0	▲31.8	8.7
卸売業	▲28.6	▲15.4	▲23.1	6.2	▲18.8	▲43.7	▲15.4	▲16.6	▲28.6	16.6	▲33.4	0.0	20.0
小売業	▲18.2	▲29.4	▲8.6	▲13.4	16.1	9.0	▲41.2	▲2.8	0.0	0.0	▲17.6	▲20.6	▲15.2
飲食業	▲5.5	▲43.7	▲18.8	▲28.6	▲13.3	▲33.4	▲35.3	▲16.7	▲14.3	▲11.8	▲26.6	▲44.4	0.0
サービス業	▲9.1	▲25.0	5.0	6.8	▲6.7	▲13.3	▲11.6	8.9	▲4.6	▲5.0	0.0	2.4	▲22.0

3. 営業利益DI（前年同月比）

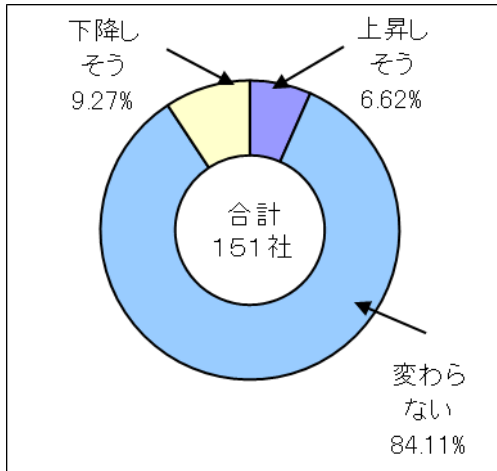
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲13.9）よりマイナス幅が3.4ポイント拡大し、▲17.3となった。業種別に見ると、卸売業はマイナスからプラスに転じた。製造業、飲食業はマイナス幅が縮小した。サービス業はプラスからマイナスに転じた。小売業、建設業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	28/8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 体	▲15.3	▲26.5	▲16.0	▲16.7	▲19.3	▲18.6	▲24.5	▲8.6	▲15.3	▲13.3	▲14.7	▲13.9	▲17.3
建設業	▲19.0	▲23.8	▲21.7	▲29.2	▲43.5	▲20.0	▲27.3	▲21.0	▲33.3	▲32.0	▲28.6	▲4.7	▲21.8
製造業	▲5.0	▲30.5	▲30.5	▲22.7	▲10.0	0.0	▲9.1	▲10.0	▲4.1	▲9.1	▲4.7	▲36.4	▲8.7
卸売業	▲21.4	▲23.1	▲7.7	▲6.2	▲25.0	▲37.5	▲30.8	▲8.3	▲14.3	8.3	▲20.0	▲6.6	13.4
小売業	▲15.1	▲29.4	▲14.3	▲23.3	0.0	▲9.1	▲35.3	▲2.8	▲11.7	▲17.6	▲20.6	▲17.6	▲21.2
飲食業	▲16.7	▲50.0	▲37.5	▲42.9	▲33.4	▲46.6	▲41.2	▲22.2	▲21.4	▲11.8	▲26.6	▲38.9	▲25.0
サービス業	▲15.9	▲15.9	0.0	2.3	▲17.8	▲17.8	▲14.0	▲2.2	▲14.0	▲7.5	▲2.3	4.9	▲24.4

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇

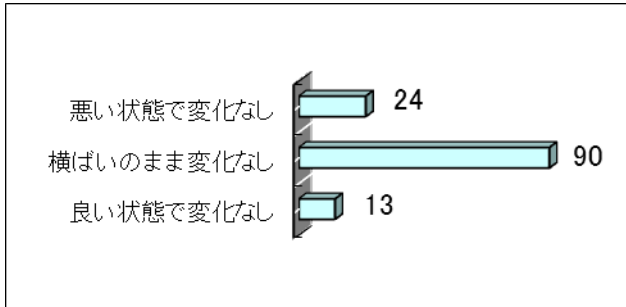


○平成29年9月～平成29年11月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ1.98ポイント増加し6.62%、「下降しそう」が2.65ポイント増加し9.27%となった。業種別の見通しDIは建設業(4.4)、製造業(0.0)、卸売業(6.7)、小売業(▲9.1)、飲食業(▲6.2)、サービス業(▲4.9)であった。

➡「上昇しそう」では、「松本市の工事発注量が増えそうなため」「上昇してほしい」(建設業)、「発注案件が増加したため」(卸売業)、「営業販売に努力するのみ」(小売業)、「イオンモール松本店開業による市内に訪れる客の増加のため」(飲食業)、「婚礼、宴会需要増のため」「仕掛中のプロジェクトの回収が予定されるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

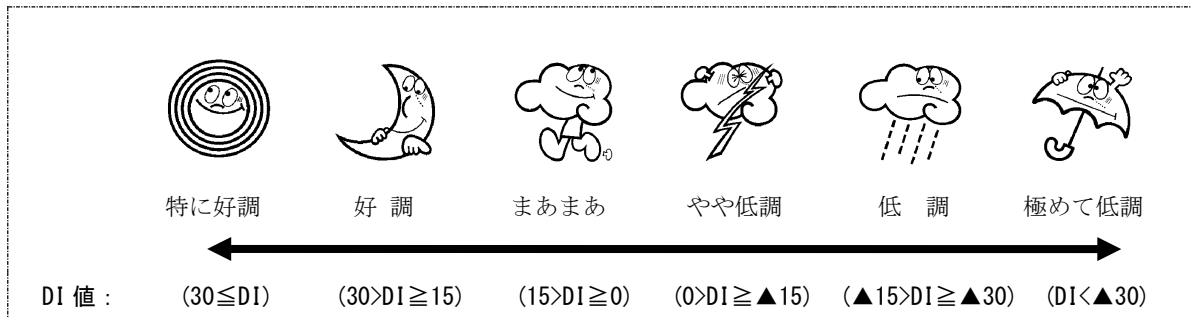
➡「変わらない」では「今までと受注状況が変わらないため」(建設業)、「閑散期のため」(小売業)、「ここ数ヶ月をみても消費率が低く横ばい状態で変化がないため」「夏よりはいい天気になると思うが、紅葉の具合が悪そうなため」「職業訓練受講者募集に底打ち感はあるが、定員割れが続いているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では、「受注量の減少が見られるため」(製造業)、「来店客数の減少のため」「イオンモール松本店オープンで集客が無く下降しそうなため」「イオンモール松本店開業の影響が出るため」(小売業)、「年間で一番忙しい月が過ぎたため」「来月から3ヶ月間は毎年売上げが少ないため」(飲食業)、「毎年、夏が売上のピークのため」(サービス業)といった声が寄せられた。

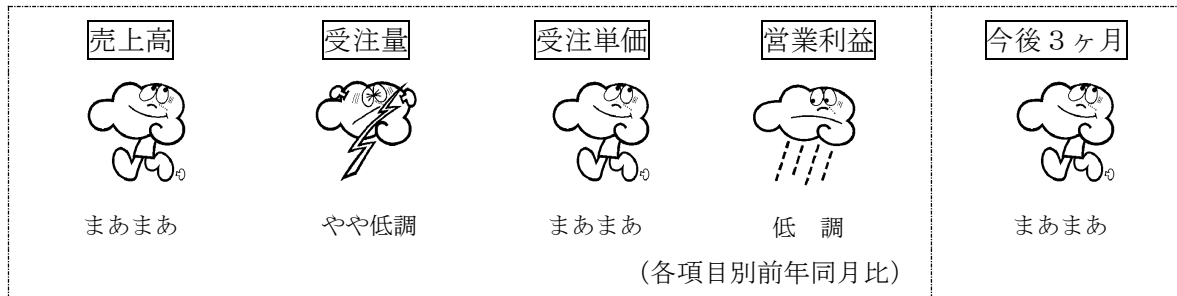


業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



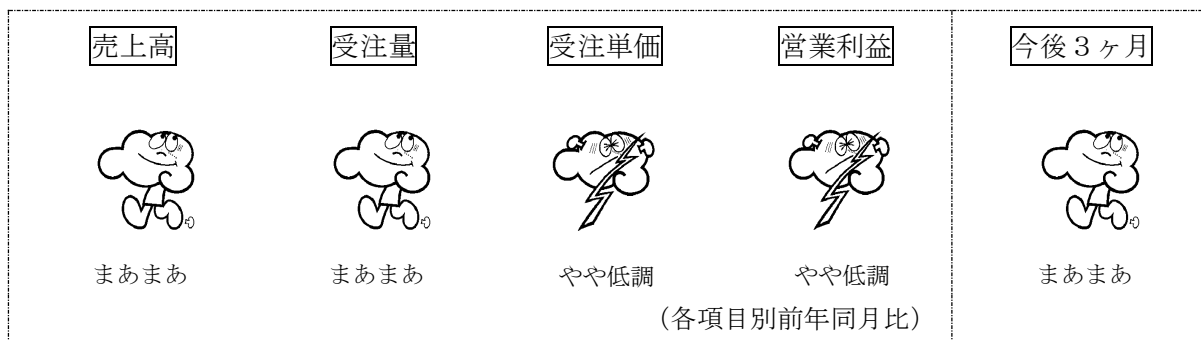
【項目別DIの推移】

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 21.7	▲ 12.5	▲ 39.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 19.1	▲ 28.0	▲ 14.3	0.0	8.7
受注量	▲ 38.1	▲ 4.7	▲ 13.1	▲ 20.8	▲ 39.1	▲ 30.0	▲ 18.2	▲ 5.2	▲ 38.1	▲ 40.0	▲ 33.4	0.0	▲ 8.7
受注単価	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 26.1	▲ 16.6	▲ 21.8	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 5.3	▲ 4.8	▲ 12.0	▲ 4.8	4.8	0.0
営業利益	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 21.7	▲ 29.2	▲ 43.5	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 21.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 28.6	▲ 4.7	▲ 21.8
見通し	▲ 4.8	9.5	▲ 8.7	▲ 4.1	▲ 4.4	0.0	4.6	10.5	0.0	16.0	9.5	14.2	4.4

<経営者の目・見方・etc>

- 建築工事**
 - 先月の状況と同様に入札案件も多く対応が難しい。公共工事以外の受注や引き合いも多く受注を断るほどで例年にない状況であるが、案件が多くても受注単価は決して高いとは言えない。
- 総合建設**
 - 全体的に民間建築は順調、公共土木は少なめで推移している。
- 鉄工**
 - 地元物件が出はじめ、良くなってきている。首都圏は相変わらず物件が多い。
 - 各種業種において人手不足感が強まっている感じである。求人を出してもなかなか採用が難しい感じである。会社の将来を見据えて人材の育成を考えていかなくてはならないと感じる。
- 土木工事**
 - 地元物件が少ないと感じる。
 - イオンモール松本店開店による渋滞が心配されるため、市内の道路工事を手控えているという噂を聞く。
- 電気工事**
 - これといった大型工事が無い状況が続いている。経費を少なくするよう心がけているが大変である。借入が増加するばかりでどうしてよいか見当がつかない。
- 管工事**
 - 売上全体では変わらないが、多少改善された。しかし今後の見通しは良くないと思う。

2. 製造業



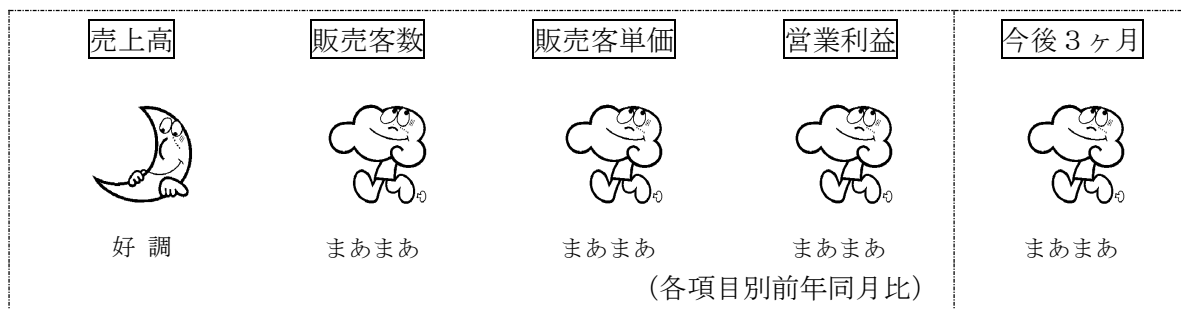
【項目別DIの推移】

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 5.0	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 4.5	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7	▲ 9.1	0.0	▲ 31.8	8.7
受注量	▲ 15.0	▲ 39.1	▲ 26.1	▲ 13.7	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 4.5	▲ 15.0	4.2	▲ 18.2	0.0	▲ 27.3	4.3
受注単価	▲ 10.0	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 27.3	▲ 10.0	▲ 18.2	0.0	▲ 5.0	▲ 16.6	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 27.3	▲ 4.4
営業利益	▲ 5.0	▲ 30.5	▲ 30.5	▲ 22.7	▲ 10.0	0.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 36.4	▲ 8.7
見通し	▲ 10.0	▲ 8.7	4.4	0.0	▲ 5.0	0.0	9.1	▲ 20.0	▲ 4.2	▲ 4.5	▲ 4.7	▲ 4.5	0.0

<経営者の目・見方・e t c >

印刷	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール松本店開店の影響が心配。 ・書籍関係業界は、今月は閑散期のため、特に動きは少ない。
菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・中旬より異常気象による野菜の高騰が続き、嗜好品のお菓子に使える金額が低くなっている。
金属塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年比での受注、売上は増加しているが、例年8月は稼働が少なく落ち込む月で、昨年は特に低かったのが良くなっているように見えるが実際はあまり良くない。北朝鮮の動きが心配。
合成樹脂加工	<ul style="list-style-type: none"> ・FRPによる大型タンク受注は横ばいであるが、先進複合材による成型加工の受注が伸び悩む。先進複合材部門に単価切り下げ圧力もあるため、収益確保が難しくなっている。
紙器	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつではあるが売り上げが増していきそう。
食品・飲料	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな加工食品の原料原産地表示制度が施行された。
精密機械	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き堅調だが、やや一服感がある。中期的にはやや踊り場になるかもしれない。
小型情報機器組立	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の動きが大変悪く先が見えない。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 28.6	▲ 15.4	▲ 23.1	6.2	▲ 18.8	▲ 43.7	▲ 15.4	▲ 16.6	▲ 28.6	16.6	▲ 33.4	0.0	20.0
販売客数	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.2	0.0	▲ 20.0	6.6	6.7
販売客単価	▲ 21.4	▲ 7.7	0.0	6.3	▲ 18.8	▲ 18.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 14.3	0.0	▲ 26.6	0.0	6.7
営業利益	▲ 21.4	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 8.3	▲ 14.3	8.3	▲ 20.0	▲ 6.6	13.4
見通し	7.1	▲ 7.7	0.0	0.0	▲ 6.3	0.0	0.0	8.3	7.1	8.3	▲ 6.7	▲ 13.3	6.7

<経営者の目・見方・etc>

機械工具

・相変わらず不透明な先行きで、あまり変化はない。

・祝日とお盆休みがあり稼働率が少なかったにも関わらず、前からの受注があったため売り上げに結び付いた。

金属製品

・首都圏ではオリンピック関連に人手が奪われている。それ以外の案件により、地元加工業者はしばらくの間途切れることなく仕事がある状況が続く。

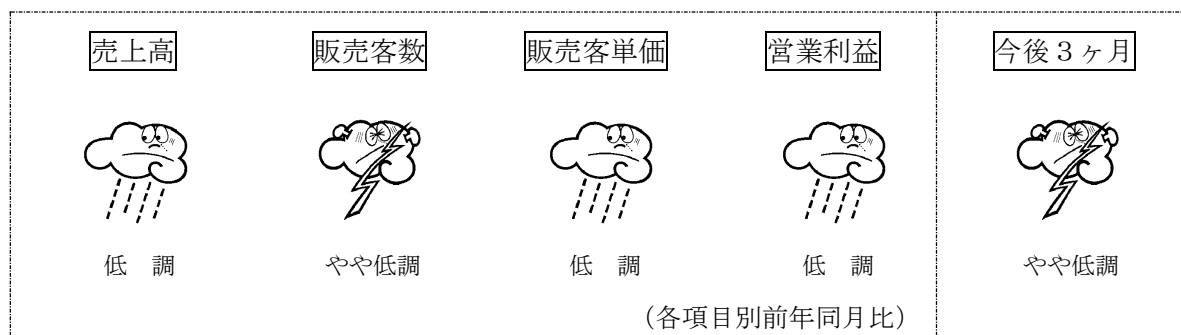
青果

・お盆中、お盆後の中旬の低温により、後半の消費低迷が今月全体の売上に影響を及ぼした。

土産品

・全体的には業績がプラスになっているが、天候不順のため、上高地、美ヶ原等山岳観光地では、集客、売上とも減少している。

4. 小売業



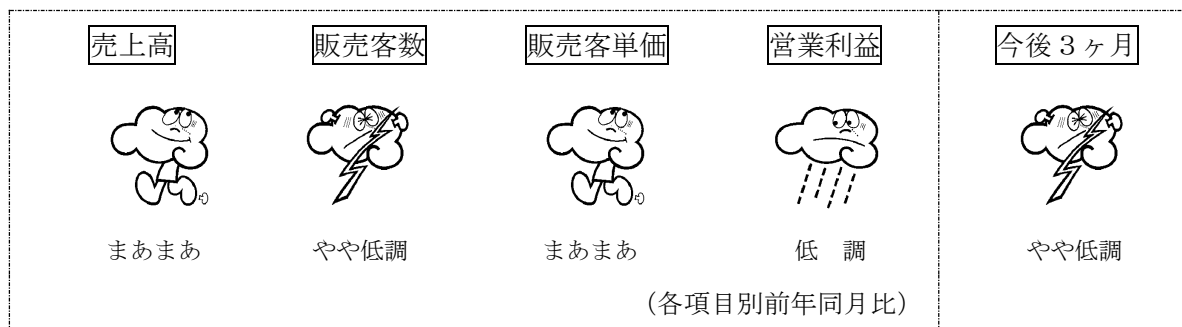
【項目別DIの推移】

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 18.2	▲ 29.4	▲ 8.6	▲ 13.4	16.1	9.0	▲ 41.2	▲ 2.8	0.0	0.0	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 15.2
販売客数	▲ 6.1	▲ 29.4	▲ 5.7	▲ 23.3	0.0	3.1	▲ 41.2	▲ 8.3	▲ 3.0	▲ 8.8	▲ 14.7	▲ 17.6	▲ 9.1
販売客単価	▲ 12.1	▲ 23.6	▲ 22.9	▲ 20.0	6.4	▲ 12.1	▲ 32.3	0.0	▲ 11.7	▲ 5.9	▲ 20.6	▲ 23.5	▲ 24.3
営業利益	▲ 15.1	▲ 29.4	▲ 14.3	▲ 23.3	0.0	▲ 9.1	▲ 35.3	▲ 2.8	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 17.6	▲ 21.2
見通し	▲ 6.1	▲ 5.9	0.0	0.0	0.0	▲ 3.0	2.9	▲ 8.3	2.9	0.0	▲ 8.8	▲ 5.9	▲ 9.1

<経営者の目・見方・e t c>

パン	<ul style="list-style-type: none">・上旬暑く、下旬涼しいなどの気温の変化にうまく対応して利益が出た。・働き方改革が本当に中小企業に合うか疑問である。・企画、宣伝により客数の増加ができたことは良かった。イオンモール松本店の動向は気になって仕方ない。とはいっても自分でやれることをやるだけである。
菓子	<ul style="list-style-type: none">・観光客は多かったが、客単価は低かった。イオンモール松本店がオープンすると中町通りの歩行者は増えると思うが、目的は中町ではない。また観光客が渋滞の車の間を縫って歩いていく。歩行者と自転車、自転車と車、車と歩行者の事故が心配である。
おやき	<ul style="list-style-type: none">・お盆休み、夏休みとも低調だった。天候が不順なこともあったが、儉約指向が進んでいるように思える。店舗の構成見直しを含めて販促を図りたい。
生鮮食品	<ul style="list-style-type: none">・先月に続き今月中旬頃まで忙しかった。来月はアリオ松本店の閉店、イオンモール松本店の開店で街の中がどうなるのか。
観光物産	<ul style="list-style-type: none">・お盆の時期は若干客数が増加したが、以前に比べて減少している。
ギフト商品・カレンダー・うちわ	<ul style="list-style-type: none">・「イオンモール松本店」の文字が躍る月であった。映画も大作「関ヶ原」が上映ヒット。大手と零細企業、戦なのか共存共栄か。活路を見出すよう邁進する。
ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none">・暦の関係でお盆前半よりも後半の動員が良かった。全般的には順調であったが、後半の天候不順により衣料品に関しては低調だった。
化粧品	<ul style="list-style-type: none">・大手メーカーの製造過程におけるトラブルで回収があった。
婦人服	<ul style="list-style-type: none">・お中元の買い物のついでに来店する客が多かった。暑い日のお茶出しが好評だった。テレビ通販やネットショップ利用の客も多くなってきた。ショップサービスのカタログからの先行予約も多くなっているのので、DMでの訴求も地道にコツコツ続けたい。
印章	<ul style="list-style-type: none">・お客様と判子の話をしていると、あまりにも判子の取り扱いに対して無防備であることがうかがえる。啓発に力を入れたい。・夏の間を訪れた観光客を、少しでも多く取り込むにはどうすれば良いか考えていかねばならない。タウンスニーカーが増便して乗客が増えたという。イオンモール松本店への足になるとしたら、商店街を回遊する人は激減するかもしれない。
薬局	<ul style="list-style-type: none">・天候がとても不順であった。明るいニュースもなく、お客様が来ても消費意欲がない。・伊勢町は暑いので、小川の水をポンプで道にあげるなど対策をとってもらいたい。
住宅機器	<ul style="list-style-type: none">・大きな波はなく、前年並みが続いている。
陶磁器	<ul style="list-style-type: none">・例年より日照時間が少ないのに平均気温は高いという不思議な夏だった。首都圏も暑くない日が多かったせいか、信州デスティネーションキャンペーン中だというのに盛り上がり欠けている。7年前の今回は大盛況だったような記憶があるのだが、ただ待っているだけでは集客できないということだろうか。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 5.5	▲ 43.7	▲ 18.8	▲ 28.6	▲ 13.3	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 44.4	0.0
販売客数	▲ 5.6	▲ 31.2	▲ 12.5	▲ 28.6	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 11.1	▲ 14.3	▲ 5.9	▲ 33.3	▲ 38.9	▲ 12.5
販売客単価	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 35.8	▲ 13.3	▲ 6.6	▲ 35.3	5.6	▲ 14.3	▲ 11.7	▲ 26.7	▲ 33.3	6.3
営業利益	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 46.6	▲ 41.2	▲ 22.2	▲ 21.4	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 38.9	▲ 25.0
見通し	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 12.5	0.0	▲ 26.7	0.0	▲ 11.7	16.7	14.3	0.0	6.7	▲ 5.6	▲ 6.2

<経営者の目・見方・etc>

郷土料理

・今月は一番多忙な期待の月であったが、はずれに終わった。お盆の4日間は来客が集中して最高の状態であったが、全体では伸び悩む結果であった。

仕出し料理

・長雨や日照不足による野菜の値上がり、人手不足と心配なことが多い。

料理

・お盆は忙しいとの常識が変わってきた。現代の世相を感じる。

喫茶

・旧井上の解体工事が進み、昭和の面影が消えていく。跡地の大型バス駐車場に期待することの切なさを感じる。

寿司

・先月より引き続き夏らしくない天候が続いたことはマイナス要因であったが、観光客などの利用がプラス要因として働き、月を終えてみれば例年並みの結果であった。今後気になるのはイオンモール松本店オープンに伴うお客様動向の変化である。マイナス要因が大きく取り上げられているが、変化する時こそチャンスがあると考え前向きな販促などに取り組みたい。






・夏のイベントがあり、まあまあ業績だった。

・初旬からお盆までは多くのイベントもあり調子のいい日が続いた。しかしお盆過ぎは例年のごとく落ち着いてしまった。あまり驚いてはいないが何もない時の対策を考えなければならない。いよいよイオンモール松本店がオープンする。色々な話が聞こえてくるが実際オープンしてみないとわからない。

そば

・前半は大した動きはなかったが、10日過ぎたころから例年並みの忙しきになり、終わってみればほぼ例年並みだった。しかし、社会情勢の不安定など今後の見通しが不安である。

6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
低調	低調	まあまあ	低調	やや低調
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 9.1	▲ 25.0	5.0	6.8	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 11.6	8.9	▲ 4.6	▲ 5.0	0.0	2.4	▲ 22.0
販売客数	▲ 4.5	▲ 22.7	0.0	4.6	▲ 11.1	▲ 17.7	▲ 14.0	4.4	0.0	▲ 7.5	▲ 2.3	▲ 2.5	▲ 24.4
販売客単価	4.5	0.0	▲ 2.5	6.8	▲ 2.2	▲ 4.4	▲ 7.0	0.0	2.3	0.0	9.1	0.0	7.4
営業利益	▲ 15.9	▲ 15.9	0.0	2.3	▲ 17.8	▲ 17.8	▲ 14.0	▲ 2.2	▲ 14.0	▲ 7.5	▲ 2.3	4.9	▲ 24.4
見通し	4.6	9.1	10.0	4.5	2.2	8.9	0.0	6.6	7.0	▲ 5.0	4.5	0.0	▲ 4.9

<経営者の目・見方・etc>

自動車整備

- ・お盆休みもあり、仕事量は少なかった。後半に少しずつ事故車両などが在庫し、忙しさも戻りつつある。全体的に先が見えない状況である。電気自動車やブレーキアシスト等技術の進化により、仕事量は減る一方では、と不安である。

温泉旅館

- ・とにかく天気の悪い月だった。晴れは1日と続かず、お盆休みだけはなんとか好天に恵まれたが、他はどうしようもないくらいのもあり様だった。登山者は好天を待っていたため、最終週のみ大勢の登山客が訪れたが、後の祭りであった。秋の好天に期待したいところだが、日照不足のため、紅葉の色づきが心配される。
- ・スポーツ関係、観光、セイジ・オザワ松本フェスティバル等々で昨年を上回る忙しさであった。さすが観光都市松本。

宿泊

- ・全国的に天候が良くなかったが、天候が最も入り込みを左右する山岳地域としては平均的によくなってくれた。

ホテル

- ・宿泊は間際の予約の伸びが良い。イオンモール松本店オープン、アリオ松本店閉店などの大型工事に係る宿泊利用が増えている可能性が考えられる。
- ・宿泊は好調、インバウンドの動きも良好。宴会は例年通りで今月は低調。レストランの動きは昨年よりも良かった。夏休み中の天候が悪いと、昼のレストランは動きが良いのかもしれない。

警備保障

- ・人手不足で、どこも苦しいイメージがある。

機械設計

- ・今月もまあまあの業況である。価格は厳しいが設備投資は続いている。

ソフトウェア

- ・WEB技術やビッグデータ活用の基盤づくりについて、いくつか耳にするようになってきた。ただ聞いてみるとすべて大手のフレームワーク改修か、パッケージばかり。顧客の機能要求を大きく超えるオーバースペックのものが多い。これも下請け構造を背景に技術者の育成をしてこなかったからと感じる。

ホームクリーニング・リネンサプライ業

- ・天候がすぐれない割には売り上げに影響がなかった。

獣医	<ul style="list-style-type: none"> ・獣医大学増設の問題で不明点が多く指摘されている。第160回日本獣医学会in 鹿児島大学へ参加したが、話題はその件に集中した。鹿児島大学の掲示板を見ても反対意見の貼り紙が多かった。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年8月は「山の日」制定記念行事や全日本中学陸上競技大会等が松本市を中心に行われたので輸送客数が増え売上げが良かったが、今年はその分前年を割り込んだ。
写真	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもの8月より少し証明写真・パスポート写真が多かった。
理容	<ul style="list-style-type: none"> ・業界全体的に低迷した。
リラクゼーション	<ul style="list-style-type: none"> ・前半酷暑が続いたためか、来店数が予想より下回った。

